



二松学舎大学

国際政治経済学部 公開シンポジウム

『現代の政策を科学するⅣ(総括)』 —学際的融合と専門教育—

＜シンポジウムの概要＞

本シンポジウム・シリーズを通して、政治学、経済学・経営学、法学といった社会科学の蓄積してきた知見を十分に活用していない、急場凌ぎの政策が横行していることを問題視してきた。その結果益々混沌感を深める現代社会で、大学は「何を、どのようにして」教育・研究することにより社会科学を実践するのかを問い直してきた。

この問いは、社会科学系大学が漫然と総合化、国際化するのではなく、AIの駆使・活用が予想される近未来に「学士力」として求められる資質を特定したうえで、大学が目指すリベラル・アーツとしての「融合化」の方向性、及びそのなかでの成果ある「専門教育」の位置付けの探求でもある。

行政学はもともと行政組織の編成や管理に関する技術の開発を指向するものだった。この重要性は依然として変わっていないが、第二次大戦後は、政府機能の分析や政府の政治・行政責任に関心を集中するようになった。その結果、研究者の政治的指向によって政府活動への評価も多様化している。社会科学としての行政学は政策形成にいかなる役割りを果たすべきなのか、隣接科学との関連を念頭に考えてみる。

社会科学のなかでも高度精緻化による肥大化・分岐化が顕著な経済学では、体系的(Systematic)かつ積上げ式(Spiral)教育カリキュラムの構築、実践が急務となっており、そのための処方箋を提示する。

2019年10月26日(土) 13:30~17:30(開場13:00)

二松学舎大学九段キャンパス1号館 202教室

※参加無料、事前申込不要、一般来場歓迎

（タイムテーブル）

- 13:30 開会挨拶:** 中山 政義 (二松学舎大学副学長・国際政治経済学部長)
- 13:40 学長挨拶:** 江藤 茂博 (二松学舎大学学長)
- 13:50 基調講演:** 『市場と政策の代替・補完 — 社会諸科学の融合と専門教育 —』
野村 芳正 (二松学舎大学東アジア学術総合研究所特命教授・千葉大学名誉教授)
- 14:10 講演1:** 『経済学の体系的・積上げ式カリキュラムの実践
— 千葉大学特進コース(学部・修士5年一貫)の取り組み —』
大鋸 崇 (千葉大学大学院社会科学研究院准教授)
- 14:50 講演2:** 『ポスト INF 条約時代のアジア太平洋地域の安全保障』
合六 強 (二松学舎大学国際政治経済学部専任講師)
- (休憩)
- 15:40 招待講演:** 『政策形成に果たすべき社会科学としての行政学の役割』
新藤 宗幸 (千葉大学名誉教授)
- 16:50 質疑応答及び統括的討議:** 『社会科学の学際的融合と専門教育に向けて』
- 17:20 閉会挨拶:** 中山 政義 (二松学舎大学副学長・国際政治経済学部長)
- 総合司会・進行:** 渡辺 和則 (二松学舎大学国際政治経済学部教授)

＜お問い合わせ＞

二松学舎大学 教務課

TEL 03-3261-7406

○東京メトロ 東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分

○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分

※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

